

令和4年度福島県ワーク・ライフ・バランス大賞について

(敬称略)

ワーク・ライフ・バランス大賞

総合的に最も取組が進んでいる企業

株式会社DNPテクノパック泉崎工場（製造業、泉崎村）

育児短時間勤務の男性の利用実績があり、不妊治療、がん治療を目的とした休暇制度を設けるなど、育児や介護、治療との両立に力を入れている。また、従業員へのアンケートによる職場改善要望の吸い上げや、各職場の好事例をまとめたオリジナルの社内広報紙を作成し工場全体で共有する等の職場風土改革を実践。そのほか所定外労働縮減や健康増進の取組、作業の安全意識向上の取組を行うなど、従業員が働きやすい職場環境づくりの取組が総合的に評価された。

ワーク・ライフ・バランス先進的取組大賞

総合的に取組が進んでおり、先進的かつ特徴的な取組を行っている企業

有限会社飯田製作所（製造業、本宮市）

男女を問わず最低連続5日以上の育児休業を取得するようルール化し、2021年度以降、男女とも100%取得を達成。また、コロナ禍で親睦を深めるきっかけを掴みにくい従業員同士のコミュニケーション創出の一助として、従業員の趣味に使った費用の一部を補助し社内掲示板に掲載する「マイ推し補助」を創設。そのほか、就業予定日に消防団活動に参加することとなった場合、その時間は通常出勤として取り扱い、支障なく参加できるよう後押し。これらのユニークで特徴的な取組が評価された。

ワーク・ライフ・バランス男女共同参画大賞

総合的に取組が進んでおり、男女が共に仕事と家庭の両立が図られるよう取り組んでいる企業

会津オリンパス株式会社（製造業、会津若松市）

男性育児休業取得者11名で、その取得日数も最長で154日であり、また、年次有給休暇取得率が71.6%と高く、テレワーク利用者が月500人いるなど休みやすく働きやすい職場環境づくりを行っている。そのほか、女性管理職候補者の計画的育成や女性のための相談窓口の設置、乳がん・子宮頸がん等のがん検診の費用を補助するなど女性活躍の環境を整えており、これらの取組が評価された。